

—お参りにちょっとした“張り合い”をプラス—



「皆福寺もんぼうカード」 の取り組みについて

～「皆福寺もんぼうカード」とは、
皆福寺の法座を対象とした参拝スタンプカードです～

【「皆福寺もんぼうカード」の願い！】

- ①少しでも多くの方に法座(同朋会・報恩講等)へお参りしていただき、仏教の教えに触れていただきたい！
- ②『皆福寺もんぼうカード』のスタンプ(法語印)を通じて、法語(仏教のことば)に触れていただき、仏教の教えを知っていただきたい！
- ③お参りにちょっとした「張り合い」の要素を加えたい！

みんなで
やってみよう！

【ご利用方法】

～最初にカードへお住まいの地名と名前を記入しましょう！～
(紛失防止のため)

- ★皆福寺の法座(同朋会・報恩講)にお参りするたびに、カードへ法語印(教えの言葉のスタンプ)を1個、担当総代さんに押印してもらいます。
(場所:皆福寺本堂)

☆「法語印」は一種類でなく数種類あります。(裏面参照)毎回、違うスタンプを押してもらいましょう！

★スタンプが7個(☆の欄)まで貯まると、ささやかな「ごほうび」があります。

☆一人1枚使用可能です。家族みんなで取り組むことができます。また、所属門徒でなくても、有縁の方々すべてが取り組めます。

◎カードは随時、皆福寺において配布しております。

◎スタンプに有効期限はありません。いつからでも始められます！

『皆福寺もんぼうカード』法語印の紹介 (一例)

じんしんじしん

◎ 深信自身 (自身を深信する)

親鸞聖人の著書『愚禿鈔(グツクシヨウ)』にある言葉。仏教の話を聞く(聞法)とは、自分のいやな部分も含めて、自身のありのままの姿を受け止めていくという意味の言葉。

じねんほうに

◎ 自然法爾

親鸞聖人が大切にされた「自然」という言葉を、後の人が、その心を解釈された言葉。「自然」とは、「あるがまま」の意味で、「あるがまま(自然のことわり)」を受け入れることが、悟りの世界であるという意味の言葉。

ち おんほうとく

◎ 知恩報徳 (恩を知りて徳を報ず)

親鸞聖人の著書『教行信証(キョウギョウシンシヨ)』において、「正信偈」が綴られる直前に記されている言葉。私達の生き様は、あらゆるはたらきによって、支えられており、その事に気づき(恩を知る)、その恩に報いる(報徳)という意味の言葉。

しょぶつごねん

◎ 諸仏護念

親鸞聖人の著書『教行信証(キョウギョウシンシヨ)』において表されている、お念仏の教えが我々にもたらす、十種の利益のうちの一つ。この言葉の「諸仏」とは、私達を支えているはたらきを表し、そのはたらきが、今を生きる私達一人ひとりを、護(守)り、常に念じてくださっているという意味の言葉。

がんしょうじょうど

◎ 願生浄土 (浄土に生まれんと願う)

中国の高僧・曇鸞(ドンラン)が記した『浄土論註(ジョウドロンチュウ)』にある言葉。ここで言う「浄土」とは、「誰もがお互いに認めあう世界」という意味で、それは、私たち人間誰もが願う共通の願い(本願)であり、その世界に生まれたい(生きたい)と願うという意味の言葉。

しょうしきしょうこう

◎ 青色青光 (青き色には、青き光)

『阿弥陀経』にある言葉。「青色青光、黄色黄光、赤色赤光、白色白光」と続き、お浄土世界を、それぞれの個性をお互いに認め合いながら生きている世界であることを色にたとえて表現した言葉。

わ もつ たつと

◎ 以和為貴 (和を以て貴しとなす)

聖徳太子が編纂されたとされる『十七条憲法』の第一条にある言葉。何事にも、お互いを認め合い、仲よく行うことが非常に尊いという意味の言葉。